

高大連携 スポーツ支える人材育成

体育コース持つ8高校と包括協定

熊本県内の体育コースを持つ県立、私立高校8校でつくる県高等学校体育学科・コース連絡協議会（会長：栗谷雅之・熊本西高校長）と本学の間で16日（木）、包括連携協定が結ばれました。同協議会が大学と連携協定を結ぶのは初めてです。



協定締結式後、協定書を手にする竹屋学長、栗谷会長を中心に記念撮影する関係者

締結式は本学3108M講義室であり、加盟校関係者や県教委関係者など計30人が出席しました。竹屋元裕学長が「本学健康・スポーツ教育研究センターのいろいろな活動に（生徒が）参加することで授業に生かしてほしい」、栗谷会長が「高校教育の限界を超えた高大連携により、生徒の育成ができる」と期待しています」などとあいさつし、協定書に署名しました。

県立高は4月、普通科体育コースを普通科スポーツコースに改編し、トップアスリート育成に加え、スポーツを支える人材の育成にも取り組みます。協定により、健康・スポーツ教育研究センターが取り組む、ジュニアアスリート支援（水上村合宿支援、くまもとワールドアスリート、タレント発掘事業など）、実業団・プロスポーツ支援などの活動に、スポーツコース所属の生徒が参加するシステムを構築します。

また、スポーツ・健康領域での高大接続の観点から積極的に情報交換を行い、スポーツと健康を支える人材育成に関する可能性も検討していきます。

締結式終了後、加盟校関係者は同センターの松

原誠仁副センター長らの案内で学内を見学。2月の広島野球障害検診に参加した飯伏羲弘教授（医学検査学科）の報告に耳を傾けたり、アリーナ内に設置されたトレーニングルームや各種測定機器などの説明を受けたりしていました。

同協議会加盟校は次の通り。

熊本西高、大津高、鹿本高、岱志高、南稜高、八代東高、松橋高、城北高（NL編集部）



アリーナ内のトレーニングルームを見学する高校関係者



本学リハビリテーション学科の草創期から学科、専攻の発展を見守ってきた飯山準一教授（附属図書館長）が3月で退職され、新年度からは特任教授として再出発します。飯山先生に心境をつづっていただきました。

惜別の辞

～ 2523教員室から～

飯山 準一 教授

15年間、2523教員室の人でした。夏の午後はブラインドを閉めました。日が金峰山に落ちれば素敵な黄昏時がやってきます。しばし山際のトワイライトに癒やされます。そんな部屋でのつぶやきです。＝写真は教員室から見える夕暮れの風景

思うにまかせぬ旅の道

どんなに素晴らしい能力を持った人がどんなに努力を重ねても、人生思う通りにはいかないものだろうな。すべて思う通りにできれば、最初は全能感にあふれるかもしれないけれど、そのうち飽きるに違いない。“水戸黄門”のお決まりのストーリーは安心だけど、やっぱり想定外のハプニングが旅の醍醐味かな。思わぬいいこと、悪いこと、悲喜こもごもの幾年月、チケット取り損ねて墜落から免れた人もいるわけだし、やっぱり塞翁に学ばなければ。

冷蔵庫の中のもので
何つくろうか

子供の頃、おもちゃは自分で作れと父に渡された肥後守、鉛筆削りも魚の腹を割くのもこれ一本。大人になっても包丁一本と砥石は必須。家にあるもので何か美味しいものが作れないか？意外な組み合わせにチャレンジするのでもまた一興。もちろん失敗もあるけれど、うまく行ったら儲けもの。

食材をどんな形状に、どのくらいにカットし、どんな熱を加えるか。料理と研究は似てるなあ。金がなくては研究できぬ。だからといって金があってもいい研究ができるとは限らない。これだから料理も研究も面白い。これからも周りの人たちと、なんか楽しいチャレンジをしてみたいな。

ヒッチコックもびっくり！

秋の一時期、何故かやってくるカラスの大群。落穂拾いなのか、どこからか駆除避難なのかよく分かりません。写真はまさに窓ガラス（笑）。越冬シーズンはチョウゲンボウも毎年やってきて、いじわるなカラスはすぐにちょっかいを出します。

自然豊かなこの地で、これからも教育と研究に勤めます。これまで多くの方々にお世話になりました。この場を借りて深謝いたします。そしてこれからもどうかよろしく願いたします。





未利用資源の活用法、運動レッスン企画 ...

学生らが研究成果を発表

UXプロジェクト

ライフサイエンスをはじめとするさまざまな研究開発を行うUXプロジェクトの成果を発表する「UX Project DEMO DAY 2023」が16日（木）、熊本城ホールで開催されました。

本学からは松尾健志郎さん（大学院リハビリテーション領域1年）＝写真右＝がチーズ製造時に発生する未利用資源ホエーの活用法について、有限会社阿部牧場と行った実証実験の結果を発表。学生部門では、井田巧さん、岩切心優人さん、七谷恒輝さん（以上、リハビリテーション学科理学療法学専攻2年）、馬場心太郎さん（同1年）が株式会社くまもと健康支援研

究所と、コロナ禍で減少した運動施設利用者を取り戻すためのプランを披露しました。＝写真左

松尾さんは、阿部牧場の製造したホエードリンクを摂取した23人の気分やストレス、やる気などを測定しました。検証の結果、ストレス軽減効果や睡眠の質の向上が期待できることを報告しました。

学生部門に参加した井田さんたちのグループは、植木健康福祉センターかがやき館で60歳代を対象とした運動レッスン等を企画。SNSを活用した広報も提案しました。（入試・広報課）

春の陽気に誘われて

西里校区健康ウォーク

第4回西里校区健康ウォーキングが5日（日）、3年ぶりに開催されました。本学アリーナをスタートして寂心公園を折り返す「がんばるコース」（約6.2㌔）とセブン・イレブン下硯川店から折り返す「のんびりコース」（3㌔）に分かれ、計145人がそれぞれのペースでウォーキングを楽しみました。ウォーキング前と後には看護学科の戸渡洋子准教授の指導の下、学生による血圧測定と、リハビリテーション学科生活機能療法学専攻の吉田真理子准教授によるストレッチ指導が行われました。天候にも恵まれ、すがすがしいウォーキング日和となりました。（地域連携委員会）



写真上はウォーキングを楽しむ参加者たち。同左は参加者の血圧を測定する学生たち

「がんばるコース」折り返しの寂心公園にそびえたつ樹齢約800年の大クスノキ。地元では「寂心さんの樟」と呼ばれ、親しまれています

週間行事予定（3月25日～4月7日）	
3 / 25（土）	春のキャンパス見学会
3 / 27（月）	FDセミナー（13:00～1300L講義室及びZoom）
4 / 2（日）	入学式